

三鷹市自治体経営白書 目次

自治体経営の確立を目指して―「自治体経営白書」の発行にあたって―
「自治体経営白書」の構成

I 効率的で開かれた自治体～「21世紀型自治体」を目指す取り組み	平成13年度	
1 基本構想で定める「自治体経営戦略」		2
(1) 新基本構想の「自治体経営の基本的な考え方」		2
2 「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み		4
…		
(1) 行政の役割転換		4
・ 公設民営保育園の設置		
・ 市立アニメーション美術館の設置		
(2) 協働のまちづくりの推進		7
・ 白紙からの市民参加による基本構想・第3次基本計画の策定		
(3) 成果重視の行政経営システムの確立		9
…		
・ 総合行政評価システム構築に向けた取り組み		
(4) 柔軟で機動的な推進体制の整備		12
…		
・ 人事任用制度の整備		
(5) 透明で公正な行政の確立		13
・ ホームページによる積極的な情報公開の推進		
II 第3次基本計画の最重点・重点プロジェクトの達成・取り組み状況	平成13年度	
1 概説		16
2 《4つの最重点プロジェクト》についての取り組み		17
3 《6つの重点プロジェクト》についての取り組み		19
III 行財政システム改革大綱・実施方策の達成状況	平成12年度・13年度	
1 行財政システム改革大綱の達成状況		24
2 実施方策の「重点課題・緊急課題」の達成状況一覧		25
3 実施方策の「推進課題」における主な成果等		32
IV 三鷹市の財政状況	平成12年度	
1 歳入		40
2 歳出		42
3 積立基金と起債		43
4 財政指標		44
5 財務諸表		46
(1) バランスシート		46
…		
(2) 行政コスト計算書		48

参考資料

1 事業評価制度の概要	52
2 三鷹市の財務諸表 平成 12 年度	57

自治体経営の確立を目指して―「自治体経営白書」の発行にあたって―

本市では、行財政システム改革大綱・同実施方策や基本構想・第3次基本計画で、これまで三鷹市が目指す新しい自治体経営のあり方を提示してきました。そこでは、三鷹市が目標とする自治体像を「21世紀型自治体」とし、「効率的で開かれた自治体」を目指すこととしています。この「21世紀型自治体」を目指す上で大切なのが、ガバメント（統治）からガバナンス（共治）への転換ということです。この「自治体経営白書」は、三鷹市の自治体経営の現状を明らかにし、市民の皆さんとのさらなる協働を推進するために作成したものです。言い換えればこの「白書」は、これからの三鷹市の自治体経営のあり方を市民の皆さんと一緒に考えていくための基礎資料といえます。

今回の「白書」では、前年度の「三鷹市らしい自治体経営の取り組み事例」とともに、第3次基本計画や行財政システム改革の進捗状況、そして市の財政状況について説明し、基本構想に定めた自治体経営戦略に基づき、市がどのような取り組みを行ったのかを明らかにしています。この「白書」は、こうした徹底した情報公開と情報提供によって、「協働の推進」と「説明責任の確立」を目指す、他に例のない三鷹らしい取り組みといえます。

さて、基本構想・第3次基本計画の策定後も、三鷹市を取り巻く環境は大きく変化していますが、本市では、今年度より「あすのまち・三鷹」プロジェクトを推進します。そこでは、三鷹市の自治体経営の基本的な考え方である「先導的モデル事業や実証実験事業」の手法を積極的に用いて、市民、民間事業者、大学等との協働により、ITなどの先進技術の実証を中心とした様々なプロジェクトを三鷹で展開していきます。

さらに今年度の新たな取り組みとして、「事業評価制度」も実施します。市民の皆さんも、自らの提案をもとに策定された諸事業が、どのように実施されていくのかは大きな関心事であると思います。そこで、「事業評価制度」の導入により、基本計画の主要事業の結果や成果の評価を行い、来年度以降の「自治体経営白書」やホームページ等でその評価結果を明らかにしていきます。

三鷹市は「進化する自治体」として、これからも大きく変わっていきます。

現在の行財政システム改革大綱では、これまでの行革にはなかった新たな取り組みとして、「経営品質評価」の考えを積極的に取り入れて、行政の「量的な削減」とともに「質の向上」を図ることを行政改革の新たな課題として掲げています。近年、米国の経営改善を進める経営者の間では、「クオリティ・ジャーニー（経営品質向上を目指す旅路）への出発」が唱えられています。三鷹市においても「自治体経営の確立」を目指して、さらなる「自治体改革の旅路」に出発したいと思います。

平成14年7月

三鷹市長 安田 養次郎

「自治体経営白書」の構成

本書の構成及び内容は次のとおりです。

第Ⅰ章 「効率的で開かれた自治体＝21世紀型自治体」の実現を目指す取り組み
基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に則った施策展開の事例について、主に平成13年度の取り組みについて説明しています。
第Ⅱ章 第3次基本計画の最重点・重点プロジェクトの達成・取り組み状況
第3次基本計画は平成13年11月に確定しましたが、計画では4つの最重点プロジェクトと6つの重点プロジェクトを掲げています。ここでは最重点・重点プロジェクトに関する平成13年度の取り組みについて説明しています。
第Ⅲ章 行財政システム改革大綱・実施方策の達成状況
行財政システム改革大綱は平成12年の5月に、同実施方策は同年12月に策定しました。ここでは「大綱」及び「実施方策」策定後の平成12年度及び13年度の取り組みについて説明しています。
第Ⅳ章 三鷹市の財政状況
平成12年度までの決算データをもとに、三鷹市の財政状況について説明するとともに、バランスシート・行政コスト計算書を掲載しています。
参考資料
平成14年度から実施する「事業評価制度」の概要を紹介しています。また平成12年度のバランスシート（普通会計）、行政コスト計算書、市全体のバランスシート及び連結バランスシートの詳細版を掲載しています。

※ 第3次基本計画の取り組み状況については、単に事業の「進捗状況」だけでなく、事業実施による成果とその評価結果についても公表する必要があると考えています。そこで今年度より実施する「事業評価」の評価結果については、来年度以降の「自治体経営白書」に取りまとめて紹介する予定です。